

◆薬学生の実務実習について （連絡事項や心構え、実習内容など）

1 実務実習の心構え

実習中は、患者さんに対して最高の薬物療法を提供するために「薬剤師として何をすべきなのか」を考えるようにして下さい。また、意義ある実務実習とするために積極的な態度で取り組んで下さい。

2 実務実習における注意事項

○実務実習生であっても、白衣を着ていれば患者さんには医療従事者としてうつります。服装や言動、態度に留意し、医療従事者として適切に行動して下さい。

○医療従事者は、守秘義務を負っています。実習開始時にも説明しますが、個人情報の管理には十分に注意し、患者の個人情報は一切外部へ漏らさないようにして下さい。

○やむを得ない理由で遅刻・欠席する場合には、実習開始時刻前に薬剤部門の担当者に連絡して下さい。

3 実習初日に持参するもの

○白衣：清潔な白衣を持参して下さい（研究室で実験に用いる白衣ではありません）。

○上履き：白いスニーカーやナースシューズなど清潔感があり、つま先が隠れるもの（針を落としてけがをすることを防ぐため）。サンダルやクロックスは禁止です。

○今日の治療薬やそれに準ずる書籍

○実習ノートなど、大学から指定されているもの

○筆記用具、印鑑（シャチハタ）

※2日目以降は、担当者の指示に従って下さい。

4 実習中の身だしなみについて

医療人としてふさわしい清潔感のある身だしなみを心がけて下さい。皆さんに個性があることは認識していますが、極端な茶髪、まとまりのない長髪、マニキュア類、派手なアクセサリーやピアス等は控えて下さい。ジーンズは禁止です。履き替え用の靴を用意してください。

5 実習時間

基本的な実習時間は8:30～17:15（昼休みを含む）ですが、実習内容によって異なる場合もありますので、実習中は担当者の指示に従って下さい。